

エステ市概要（アルトパラナ県）



アルトパラナ県にあるエステ市は、首都アスンシオン市から東に 327km 地点に位置するブラジル、アルゼンチン両国と国境を接したパラグアイ第 2 の都市です。ブラジルとの国境に「友情の橋」が 1961 年に建設されてから、急速に経済発展と人口増加を遂げました。また、パラナ川には「イタプア水力発電所」があり、同発電所は、ブラジルとの共同出資で作られ、世界第 2 位の発電量を誇っています。

エステ市の面積は約 149 km²、人口は約 59 万人とされています。アラブ人、中国人、韓国人、日本人、ブラジル人など、様々な民族から成り立っています。商業都市で町全体が免税地区となっているため、近隣諸国から多くの買い物客でにぎわっています。

エステ市北側の「エルナンダリアス市」は、イタイプ二国間公団やカントリークラブ（ゴルフ場）を始め、生態系保護区や動物園があり、観光客を集めており、西に隣接する「ミンガ・グアス市」には、「グアラニー国際空港」や重要な農業施設があります。南側の「フランコ市」は、県内で最初に建設された由緒ある街で、「モンダウの滝」を有しています。

エステ日本人会



同日本人会は会員相互の親睦を図るため、年間を通して新年会や成人式、運動会、慰霊祭、敬老会、夏祭り、日本食祭り等の行事を行っている。また、日本語学校を運営し、日本語や日本文化の継承・普及に努めています。

地域に対しては、年 3 回の日本食祭りやインフルエンザ予防接種などを実施する中で、友好・親善や文化交流、並びに社会福祉の促進を図っており、さらに、パラグアイ日本人連合

会に加入し、その目的に協力し、参加諸団体とも交流しています。

傘下には老人クラブや婦人部、体育部、ボランティア・グループなどの組織があり、各々活動しています。

社団法人エステ日本人会

住所：Calle Juan Martincich, Km 5.5, Monday, Barrio San Jose, Ciudad del Este, Paraguay

電話：(+595 61)570 037

E-mail: estenikkai@gmail.com

エステ日本語学校



1969年10月1日、教育委員会が発足し、11月16日、ミンガ・グアス市(旧ストロネス移住地)に日本語学校が開校されました。その後、1988年にミンガ・グアス市とエステ市の2つの学校に分かれ、運営されていましたが、1993年にエステ市の学校に再び統合し、以降生徒数も増えてきました。現在(2022年12月)は、幼稚園から中学生、塾の学生を合わせて計31名が日本

語を学んでいます。

現在の San José 地区に新校舎が建設され、学校運営委員会や保護者会が組織化され、教育活動の支援体制も整備されました。(学校の場所、連絡先は前述の日本人会と同様) 主な学校行事は、子供・先生の日のお祝い、運動会、学習発表会、秀嗣・絵画教室、遠足以外にも毎年行われる、パラグアイ日系・日本人会連合会主催のスピーチ・コンテストや日本語能力試験にも積極的に参加しています。



運動会

エステ市の交通

<バス>

多くの会社が様々な路線を運航しております。バスターミナルは中心街から車で約5分の所にあります。

<飛行機>

近年、グアラニー国際空港においては、国内線の発着が主となってきており、そのため国際線を使う場合は、隣町のフォス・ド・イグアス市(ブラジル)の空港を利用した方が便利です。

<アスンシオン市からの行き方>

バスターミナルでエステ市行きの高距離バスに乗り、国道 2 号線を経由し、約 7 時間で着きます。

<フォス・ド・イグアス市、プエルト・イグアス市への行き方>

ブラジルのフォス・ド・イグアス市へは、エステ市のバスターミナルから国際バスで 30 分もあれば着きます。税関に立ち寄ることなく出入国することから、注意する必要があります。アルゼンチンのプエルト・イグアス市へも、エステ市からの国際バスで行くことができます。